

会 議 の 名 称	茅野市行財政改革推進市民委員会 第6回委員会		
開 催 日 時	平成30年3月20日(火) 18時30分～19時00分		
開 催 場 所	704・705会議室		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
委員長	○議事		
	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 委員長挨拶 3 報告事項 (1)パブリックコメントの結果について 4 協議事項 (1)茅野市行政経営基本計画(案)について 資料1 (2)答申書(案)について 資料2 5 その他 6 閉会 		
吉澤企画係主査	○議事録		
	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 委員長挨拶 本委員会は昨年8月3日に第1回目が開催され、第6回目の本日が答申に向けての最終日となる。委員会を重ねる中で、皆さんの貴重なご意見をいただきながら今日の日を迎えることができた。感謝を申し上げたい。 ここで計画策定は一段落となるが、この委員会は引き続き1年間、茅野市をより良くするための行財政改革について進行管理をしていく。 本日もよろしくお願ひしたい。 3 報告事項 (1)パブリックコメントの結果について 2月21日から3月8日まで、第2回目のパブコメを実施したが、意見はなかった。 3月1日、議会全員協議会への報告を行った。計画内容の変更を伴うような意見はなかった。 		
吉澤企画係主査 平澤財政係長	<ol style="list-style-type: none"> 4 協議事項 (1)茅野市行政経営基本計画(案) 資料1 ・・・資料に基づき前回会議からの変更箇所を説明・・・ ・・・茅野市一般会計財政計画についての説明・・・ 		
委員長	意見はあるか。		
委員	人件費について、『推計期間を通して減少傾向と見込む』とあるが、数字		

	<p>は必ずしも減少傾向ではない。今年度は昨年度よりは減っているが、その後は期間を通して減っているという感じではない。</p>
平澤財政係長	<p>人件費の中には退職金も含まれるため、年度によって増減する。給与自体の人件費は毎年減少傾向としている。</p>
委員	<p>退職金を含めるとほぼ一定ということか。</p>
平澤財政係長	<p>大きな変化はない。</p>
委員	<p>説明を聞けば納得するが、資料を外に出すのなら説明を添えた方がいいのではないか。</p>
平澤財政係長	<p>検討する。</p>
委員	<p>一般会計財政計画の歳出の補助費の中には焼却施設を管理する負担金がある。焼却施設は通常 15～20 年の施設を 30 年に延命措置をしてきたが、この 10 年の期間内にリミット近づいてくる。それまでにはアセスメントなどの取組があると思うが配慮していない理由は何か。</p> <p>また、投資的経費の説明には、具体的に『永明小・中学校の建設事業』とあるが、保育園や学校間関係の改築・リノベーションは盛り込まなくてもいいのか。</p>
小平企画財政課長	<p>焼却施設については一部事務組合の施設であるため、当組合での事業計画が固まり次第、財政計画の中に落とし込む予定である。</p> <p>投資的経費の中には、保育園のリノベーションについては、計画の中に落とし込みをしている。宮川小学校のリノベーションについては、ここで計画決定がされたため、事業費等を割り出し、新たにこの計画の中へ落とし込む。</p>
委員	<p>計画決定次第、またローリングしていくという考え方か。</p>
小平企画財政課長	<p>その通りである。</p>
委員	<p>参考資料の一般会計財政計画について、行政はよく『基金に頼らない』という表現を使うが、調べたところ対象となっている基金が“財政調整基金”と“減債基金”であると理解しているがそれで良いか。</p>
小平企画財政課長	<p>その通りである。財政調整基金については、災害等不測の事態に対応するための積立金である。減債基金は、借入金の返済に使うための積立金である。それ以外にも、特定目的基金があるが、この基金の中には施設整備を行うために貯金し、必要に応じて取り崩すことで年度間の財政調整をしている基金もあれば、退職者が多い年に財源調整をしている基金もある。</p>
委員	<p>一般市民が『基金に頼らない』と聞くと、基金全体を対象に捉えるのではないかと思う。基金についての記載を入れてはどうか。</p>

小平企画財政課長	正確な情報を伝えられるように、表現を工夫する。
吉澤企画係主査	<p>4 協議事項 (2)答申書(案)について 資料2</p> <p>・・・資料に基づき説明・・・</p>
委員長	<p>答申書（案）について意見はあるか。 (意見なし)</p> <p>ではこの答申書をもって、市長へ答申する。 以上で協議事項は終了となる。</p>
樋口副市長	<p>5 その他</p> <p>皆さまに今までの検討に対してのお礼を申し上げたい。 昨年の8月から半年以上に亘る6回の審議をいただき、計画がここまで固まったことに感謝している。</p> <p>この行政経営基本計画は、総合計画を支える基本政策やプロジェクトを下支えする計画と位置付けている。ご審議をいただく中で、数値目標等も設定していただき、しっかりと実行していくための形態ができた。</p> <p>答申にもあるように、これから職員が一丸となり、本計画の推進に取り組んでいきたい。</p> <p>本計画策定については一段落であるが、委員の皆さんの任期は平成31年7月までである。来年度も策定いただいた計画が着実に進行しているかどうか、ご審議いただきたい。</p> <p>それとあわせ、第3次行財政プログラムは、29年度が最終年度にあたる。最終的なまとめをしたところで、検証をしていただきたい。</p>
小平企画財政課長	<p>答申(案)の確認をしていただいた。答申日は3月22日(木)、正副委員長同席のもと、市長に答申をさせていただく予定である。</p>
委員長	<p>それでは3月22日、副委員長とともに市長へ答申書を提出するがよろしいか。</p>
委員	<p>(全員 異議なし)</p>
委員	<p>前回の委員会で地域ブランド調査の順位を向上させるために、どのような方法があるかということに対して、メールやインターネットを積極的に活用することにより、結果的に地域ブランド調査の順位が上がるという話があった。</p> <p>提案として、小・中学生に限定し、市長への言いたい放題メール提案制度はどうか。毎月1通、最優秀提案を一人選び、表彰と賞金5万円を進呈する。良い提案に対してはきちんと表彰する。</p> <p>縄文の学習は定着してきており、単純な歴史の学習とは違い、子ども達はそれぞれ工夫して楽しんでいる。思い付きであってもこの10年間で、面白い企画に子ども達を巻き込み、堅苦しいことばかりでなく、柔軟な発想を1つでも取り上げて検討してほしい。実際的手段として、施策として展開する時に取り上げてもらえればと思う。</p>

委員長	これで本日の委員会を終了する。
副委員長	<p>6 閉会</p> <p>これまで積極的なご参加、ご意見をいただき、ありがとうございました。皆様のご協力により答申まで辿りつくことができました。心より御礼を申し上げます。</p> <p>私事ではあるが、これまでの職場を離れる事になり、委員会への参加は本日で最後となる。市の行政に関わるという貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。</p> <p>皆さまの任期は来年7月までであるが、引き続きよろしくお願ひしたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>